三重県議会定例会会議録

$$\begin{pmatrix} 1 & \beta & 18 & \beta \\ 3 & 1 & \beta \end{pmatrix}$$

三重県議会定例会会議録

第 1 号

○平成28年1月18日(月曜日)

□開会に当たり、鈴木英敬知事、中村進一議長は、それぞれ次の挨拶を述べた。 **○知事(鈴木英敬**) おはようございます。

開会に当たりまして御挨拶申し上げます。

平成28年三重県議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には お集まりをいただきまして、まことにありがとうございます。

いよいよ本年5月には、主要国首脳会議、伊勢志摩サミットが開催され、 国内外から多くの方々をお迎えすることとなります。サミットを成功させ、 三重県が新たな歴史を刻むことができるよう、県民の皆さんと一緒に全県的 な取組を展開してまいります。

また、本年は、県政140周年という記念すべき年であり、東日本大震災、 紀伊半島大水害から5年目の節目でもあります。

サミットはもちろんのこと、県政の諸課題の解決に向けて全力を注ぎ、今 定例会で御審議いただくみえ県民力ビジョン・第二次行動計画を推進してい きたいと考えていますので、格別の御理解と御協力をいただきますよう、よ ろしくお願い申し上げます。

以上、甚だ簡単ではございますが、開会の御挨拶とさせていただきます。 (拍手)

〇議長(中村進一) 平成28年三重県議会定例会の開会に当たりまして、一言 御挨拶を申し上げます。

いよいよ本年5月には伊勢志摩サミットが開催されます。サミット開催に向けて、国内外から来られる皆様を安全・安心で万全の体制でお迎えできる

よう準備を整えるとともに、開催後も、地域に住まわれる方々をはじめ、県 民の皆様にとってすばらしい成果として実感していただき、引き続きその成 果を生かしていけるよう、議会としてもしっかりと対応してまいりたいと考 えております。

さて、昨年は、新たな議会体制のもとで、人口減少社会への対策と地方創生に取り組むため、三重県人口ビジョンや三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略について議論を行うとともに、みえ県民力ビジョン・第二次行動計画などについての議論を進めてまいりました。

今定例会では、この第二次行動計画が議案として提出されます。平成28年 度当初予算などとともにさらに議論を深め、この行動計画が県民にとって実 りあるものとして着実に実行されるよう、議会としても成果の確認を行って まいりたいと考えております。

これから12月までの長丁場となりますが、議員各位には、提出される諸議案に加え、県政の諸課題について活発な議論をお願いするとともに、議事運営への格別の御協力をお願い申し上げ、開会の御挨拶といたします。

議事日程(第1号)

平成28年1月18日(月)午前10時開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期決定の件

第3 決議案第1号

[採決]

会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期決定の件

日程第3 決議案第1号

会議に出欠席の議員氏名

出席議員	51名				
1	番	芳	野	正	英
2	番	中滩	質古	初	美
3	番	廣		耕太郎	
4	番	Щ	内	道	明
5	番	山	本	里	香
6	番	岡	野	恵	美
7	番	倉	本	崇	弘
8	番	稲	森	稔	尚
9	番	下	野	幸	助
10	番	田	中	智	也
11	番	藤	根	正	典
12	番	小	島	智	子
13	番	彦	坂	公	之
14	番	濱	井	初	男
15	番	吉	Ш		新
16	番	木	津	直	樹
17	番	田	中	祐	治
18	番	野	口		正
19	番	石	田	成	生
20	番	中	村	欣一	-郎
21	番	大ク	、保	孝	栄
22	番	東			豊
23	番	津	村		衛
24	番	森	野	真	治
25	番	杉	本	熊	野
26	番	藤	田	宜	三

27	番		後	藤	健	_
28	番		稲	垣	昭	義
29	番		北	Ш	裕	之
30	番		村	林		聡
31	番		小	林	正	人
32	番		服	部	富	男
33	番		津	田	健	児
34	番		中	嶋	年	規
35	番		奥	野	英	介
36	番		今	井	智	広
37	番		長	田	隆	尚
38	番		舘		直	人
39	番		日	沖	正	信
40	番		前	田	剛	志
41	番		舟	橋	裕	幸
43	番		三	谷	哲	央
44	番		中	村	進	_
45	番		青	木	謙	順
46	番		中	森	博	文
47	番		前	野	和	美
48	番		水	谷		隆
49	番		Щ	本		勝
50	番		Щ	本	教	和
51	番		西	場	信	行
52	番		中	Ш	正	美
(42	番		欠			番)

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局	最長		鳥	井	隆	男
書	記	(事務局次長)	原	田	孝	夫
書	記	(議事課長)	米	田	昌	司
書	記	(企画法務課長)	佐人	木	俊	之
書	記	(議事課課長補佐兼班長)	西	塔	裕	行
書	記	(議事課主幹)	吉	Ш	幸	伸
書	記	(議事課主査)	松	本		昇

会議に出席した説明員の職氏名

知			事	鈴	木	英	敬
副	矢		事	石	垣	英	_
副	矢		事	植	田		隆
危榜	後管 理	E統指	話監	渡	邉	信	一郎
総	務	部	長	稲	垣	清	文

午前10時4分開会・開議

開 会 明 議

〇議長(中村進一) ただいまから平成28年三重県議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

諸 報 告

○議長(中村進一) 日程に入るに先立ち、報告いたします。 決議案第1号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。 次に、例月出納検査報告1件が提出されましたので、お手元に配付いたしました。 次に、説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり出席を求めました。

以上で報告を終わります。

決議案第1号

北朝鮮の地下核実験に抗議する決議案 上記提出する。

平成28年1月18日

提出者

山岡倉稲下石大藤小長内野本森野田保田林田道恵崇稔幸成孝宜正降

北朝鮮の地下核実験に抗議する決議案

北朝鮮は、1月6日、水素爆弾の実験を実施した旨の発表を行ったところである。

北朝鮮による核実験は、核兵器の廃絶を願う国際世論を無視した暴挙であり、 断じて容認できるものではない。今回の行動は、北朝鮮が大量破壊兵器の運搬 手段となりうる弾道ミサイルの能力を増強していることと併せ考えれば、我が 国の安全に対する重大な挑戦であり、北東アジア及び国際社会の平和と安全に 対する重大な脅威である。また、かかる行為は、核実験を行わないことを求める国連安全保障理事会の度重なる決議にも違反するものである。

よって、本県議会は、北朝鮮に対し、厳重に抗議し、断固として非難するとともに、国連安全保障理事会の決議を遵守し、全ての核兵器及び既存の核計画の放棄を求める六者会合の共同声明を完全に実施するよう改めて強く求める。

以上、決議する。

平成 年 月 日

三重県議会

会議録署名議員の指名

○議長(中村進一) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。 会議録署名議員として、

> 1番 芳 野 正 英 議員 2番 中瀬古 初 美 議員 16番 木 津 直 樹 議員

以上、3名の方を指名いたします。

会期の決定

〇議長(中村進一) 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から12月21日までの339日間といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(中村進一) 御異議なしと認め、会期は339日間と決定いたしました。

決 議 案 審 議

○議長(中村進一) 日程第3、決議案第1号北朝鮮の地下核実験に抗議する 決議案を議題といたします。 お諮りいたします。本件は議事進行上、趣旨説明、質疑並びに委員会付託 を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(中村進一) 御異議なしと認め、本件は趣旨説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採決

○議長(中村進一) これより採決に入ります。

決議案第1号を起立により採決いたします。

本案を原案のとおり決することに替成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長(中村進一) 起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決 されました。

これをもって本日の日程は終了いたしました。

休 会

〇議長(中村進一) お諮りいたします。明19日から2月17日までは休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(中村進一) 御異議なしと認め、明19日から2月17日までは休会とすることに決定いたしました。

2月18日は定刻より本会議を開きます。

散 会

○議長(中村進一) 本日はこれをもって散会いたします。 午前10時7分散会